徳島新聞
2011年(平成23年)5月31日 火曜日

来月から無料日本語教室「寺子屋」

回数増やし支援充実

徳島市の市民団体

保護者対象も新設

子ども個別指導に

徳島市の市民団体「JTMとくしま日本語ネットワーク」（兼松文子代表）は6月から、日本語を母語としない県内の小中高校生や保護者向けの日本語教室「にほんご寺子屋」を開く。これまでに培った指導ノウハウを生かし、日本語のできない子どもや保護者の支援体制の充実を図る。参加無料。

JTMとくしまは2009年3月から毎月1回、子ども対象の日本語教室を開いてきた。これを「子ども部」として6月から毎週1回に拡充。さらに「保護者とのコミュニケーションに苦労している」と学校から相談を受けることがあるため、「親部」も新設し、毎月1回開く。

子ども部では、日本文化などを紹介する全体学習のほか、日本語教師が日本語や教科学習を個別指導する。

親部では、学校の教諭や保護者との交流に必要な日本語学習を行う。運動会や参観日といった外国人になじみの薄い学校行事の説明、担任教諭からの通知文の読み方などについて勉強会にする。

JTMとくしま日本語ネットワークが開いている子ども向け日本語教室。6月からは週1回実施する＝徳島市の県国際交流プラザ

具体的な事例に即した勉強会にする。

1997年に日本語教師の勉強会として発足したJTMとくしまには現在、元教諭や大学職員ら約50人の会員が所属。うち13人が日本語教師として活動している。

県内には日本語の指導が必要な児童生徒が20～30人おり、これまで会員が資料代などを出し合って日本語教室を開いてきた。こうした活動が評価され、本年度は「にほんご寺子屋」が文化庁の外国人のための日本語教育事業に採択された。

兼松代表は「子どもと保護者の支援を一体的に進め、学校現場と連携した支援の仕組みをつくりたい」と話す。

にほんご寺子屋は、徳島市の県国際交流プラザか、とくぎんトモニプラザで、日曜日の午後1時半から午後3時まで開く。1回目は子ども部が6月5日に県国際交流プラザ、親部は同19日、とくぎんトモニプラザで。問い合わせはJTMとくしま事務局〈電088（625）8387〉。

（藤田純）